



平成25年度 食農環境科学生募集・ 特別進路相談会（完全予約制）のご案内

**就農、農業生産法人・JA・農業食品関連企業への就職に関心のある高校3年生・
大学生・社会人のための特別進路相談会(個別面談)を皆さんの地元で実施します！**

- ◇ 世界の人口が70億人を超える一方で、地球温暖化による異常気象や農地の砂漠化などにより食料の生産と安定供給は世界各国にとってますます重要な課題となってきました。こうした中で、鯉淵学園は、日本農業の再生と国民への安全・安心な食料供給という大事な仕事に関心のある高校3年生や大学生・社会人の入学を待ち望んでいます。
- ◇ 入学から日々の勉学、政府の青年就農支援給付金の受給、奨学金制度、本学卒業後の就職などについてより詳しく知りたい高校3年生や大学生・社会人の皆さん方に本学教員が直接お会いし、必要な情報提供等を行うための特別進路相談会（個別面談）を皆さん方の地元で開催します。面談にはご父兄の同伴と5日前までの予約申込が必要となります。
- ◇ 日本農業の新たな未来に関心を抱いている青年のチャレンジを支援したい。それが鯉淵学園で教える私たちの願いです。詳しくは鯉淵学園のホームページ・モバイルサイトをご覧ください。特別進路相談会へ積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます！（裏面の情報もご参照ください。）

**「農業を学び農業の職につきたい」と計画する学生に政府から年間150万円の
支援金が給付されます**

- ◇ 農林水産省は24年度から毎年、新たに農業を始めようとする「青年新規就農者」を2万人以上育てるため、「新規就農総合支援事業」を開始し、新たに農業をになう青年に年間150万円の給付金を7年間にわたって支給する事業を現在推進しています。
- ◇ 24年度から実施されたこの新たな支援制度は、鯉淵学園（2年制の農業専門学校）などの農業教育機関の学生を対象とし、就農前の研修期間（2年以内）と就農後の5年間にわたり給付金が支払われます。鯉淵学園の学生も学費や寮費などにこの給付金を活用することができます。給付金の支給条件や申請の方法などの詳細は特別進路相談会でご説明いたします。



☆☆ 特別進路相談会の申込先 ☆☆☆



「チャレンジ精神ゆたかな青年
のアクセスを待っています！」
特別進路相談会の責任者：
長谷川量平教授（教務部長）

農林水産省所管・農業団体支援・厚生労働大臣指定
鯉淵学園農業栄養専門学校

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町 5965
☎ 0120-831-464 FAX 029-259-6965
ウェブサイト：<http://www.koibuchi.ac.jp>
E-mail: kyoumu@mail.koibuchi.ac.jp

＜携帯・スマートフォン対応の
モバイルサイト用QRコード＞



鯉淵学園 農業栄養専門学校の特徴

そのキーワードは：

- ① 現場に役立つ集中教育
- ② 専門学校の強みを発揮
- ③ 最高の教育環境でプロを育成

現場に役立つ集中教育：就農・農業食品関連の組織や企業への就職を可能とする、2年間で2400時間を超える短期集中型のカリキュラム

- 講義と農場実習に加え、学園直営の直売所やレストラン・加工施設でのインターンシップ教育（体験実習）など、就職後のさまざまな現場に役立つ教育カリキュラム。2年間で4年分に匹敵する内容を学ぶ努力が本学学生には求められます。
- 大学のゼミ（少人数による演習）に相当する本学独自のプロジェクト学習は学生の自由選択制によって実施し、農業経営やJA事業、畜産の専門技術などさまざまなテーマに関して学生と教員が一体となり共同研究に取り組みます。



<鯉淵で学ぶドイツ本場の食肉加工技術>

専門学校の強みを発揮：入学直後から青年就農給付金の申請指導、就職に有利な資格取得を徹底して支援・指導、マンツーマン指導による強力な就職支援

- 政府の青年就農給付金（年間150万円）の支給を希望する学生には、入学直後から専任スタッフ（就農等支援課）が申請書の書き方などについて指導します。また、現場で役に立つ日本農業技術検定や大型特殊自動車運転免許、家畜人工授精師、毒物劇物・危険物取扱者免許、家畜体内受精卵移植師などの専門資格取得については、2年間を通じ徹底した支援・指導が行われます。



<入江三弥子学生部長（手前右）みずから「面接官」として指導する「就活模擬面接」>

- 就職活動では、就農等支援課に加えて全教員がマンツーマン指導により学生への支援を強力にすすめます。専門学校の強みを発揮し、農業生産法人、JAや農業・食品関連企業などへ就職希望の学生はほぼ全員が就職しています。また、専門的な研究を深めたい学生の中には研究科（1年制）への進学や海外への留学、鯉淵学園への就職（主事補・1年契約）を選択する学生もいます。
- 本学に栄養士をめざす食品栄養科が併設されていることも大きな強みです。食品加工などについて学べるほか、食品栄養科の学生とのコミュニケーションが農業・食品関係の職につく学生にとって大いに役立つと評価されています。

最高の教育環境で「農と食」のプロを育成：50ヘクタール（東京ドーム10個分）におよぶ自然豊かなキャンパス、ハイレベルな教授陣による少数精鋭のプロ育成教育

- 北海道に次ぐ農業生産額全国第2位の大農業県である茨城県水戸市郊外にある50ヘクタールにおよぶ広大なキャンパス。全国トップクラスの教育環境で少数精鋭を基本に農と食のプロを育てるのが鯉淵学園の教育目標です。
- 全国各地から入学する学生との出会いや、学生自治による活発な自治会活動、学園直売所を通じた生産販売のクラブ活動（ミニ農業法人クラブ）など、豊かなキャンパスライフを通じてひろがる仲間とのネットワークが大切な財産となります。



<直売所で販売する「ミニ農業法人クラブ」の学生たち>

